

ダイバーシティ推進セミナー

～ 生活困窮者等の多様な人材登用の推進による企業発展の可能性 ～

開催要綱

1 目的

人口減少社会における労働力不足の克服のためには、地域に生活する多様な人材を活かし、企業の発展を図ることが必要です。

いま、「働き方改革」が進められている中で、多様な方々による多様な働き方、いわゆる「ダイバーシティ」の推進は、人手不足等を抱える企業にとっても重要な取組の一つです。今回はその一つの視点として、「生活困窮者」等の就労支援に取り組まれている企業や団体、相談支援員、そして実際に支援を受けつつ現在は就労をされている元相談者の方などにご登壇いただき、就労困難者の支援について、様々な角度から考えます。

県内には、色々な事情で生活に何らかの困りごとを抱えた方々、暮らしづらさを抱える方々があります。そうした方々を支援し、安心して生活ができるよう寄り添いながら支援をすると同時に、支援を通じて、地域のつながりや働く場を創出するなど、地域そのものの活性化を進めることが大切です。

本セミナーを通じて、御参加の皆さまとともに考え、県全体で就労支援の取組みが推進されることを目指します。

※**ダイバーシティ**：多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとするマネジメントについていう。

2 日 時

平成 30 年 7 月 13 日（金）13:00～15:45

3 場 所

大分県総合社会福祉会館（大分県大分市 2-1-41）4階大ホール

4 参加対象者

県内企業（企業経営者、人事担当者等）、農業協同組合、行政職員（生活困窮者支援担当部署等）、商工労働団体、社会福祉法人、社会福祉協議会、自立相談支援事業等担当職員、その他 就労支援の取組みに関心のある方々 等

5 参加費

無 料

6 参加定員

120 名

7 主 催

社会福祉法人大分県社会福祉協議会
大分県生活困窮者就労支援協議会

※**大分県生活困窮者就労支援協議会**：大分県中小企業家同友会、大分労働局、大分県商工会連合会、JA 大分中央会、生活協同組合コープおおいた、ワーカーズコープ等々、福祉分野だけでなく、広く関係機関が一堂に会し、生活困窮者自立支援制度に係る就労に関わる課題について、協議・検討するために設置した協議会。

8 協力

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

9 プログラム

12:30	13:00	13:05	13:25	15:30	15:45
受付	開会 (5分)	導入 (20分)	シンポジウム (120分)	質疑応答 事務連絡	閉会

10 内容・講師 (シンポジスト)

1：導入

「生活困窮者自立支援制度の概要、就労支援事業の取組みと今後の可能性」

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 課長補佐 米丸 洋 氏

2：シンポジウム

実践事例や現場の声を聞きイメージを作ると共に、先進事例をベースに本県の目指す姿を探る

《シンポジスト》

大分デバイステクノロジー(株)

代表取締役 安部 征吾 氏

社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県溪泉寮

地域係長 津島 伸一郎 氏

就労訓練を受けられた方 五味 進一 氏

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

地域福祉課長 吉田 瑞穂 氏

社会福祉法人 三光会特別養護老人ホーム悠久の里

CSW 酒井 久美子 氏

生活クラブ風の村 事業本部 事業部

企画課長 川上 葉子 氏

《コメンテーター》

厚生労働省 社会・援護局

地域福祉課 生活困窮者自立支援室

課長補佐 米丸 洋 氏

11 申込方法

別紙様式によりFAXまたは郵送にて参加申込みをしてください。

12 申込期限

平成30年7月6日(金)

13 その他

- 1) 本研修会参加者の氏名、住所、所属機関名等を掲載した名簿を作成し、本会でこれを管理します。
- 2) 駐車場には限りがありますので、できる限り乗り合わせでお越しくださいますようお願い申し上げます。

14 申し込み及び問い合わせ先

社会福祉法人大分県社会福祉協議会 地域福祉課 (担当：衛藤)

〒870-0907 大分市大津町 2-1-41 (大分県総合社会福祉会館内)

TEL：097-558-0300 FAX：097-558-1635

E-mail：m_eto@oitakensyakyo.jp

別紙

F A X 送 信 票

※別途送信票等は不要です

大分県社会福祉協議会地域福祉課 衛藤行き

FAX : 097-558-1635

平成30年度生活困窮者自立支援制度における「就労支援」促進研修

ダイバーシティ推進セミナー

～ 生活困窮者等の多様な人材登用の推進による企業発展の可能性 ～

参加申込票

所属名 _____ 記入者氏名 _____

☆以下のとおり申込みます。

NO	職 名	氏 名	備 考

申込締切：平成30年7月6日(金)

★ 申し込み及び問い合わせ先

社会福祉法人大分県社会福祉協議会 地域福祉課 (担当：衛藤)
〒870-0907 大分市大津町2-1-41 (大分県総合社会福祉会館内)
TEL : 097-558-0300 FAX : 097-558-1635
E-mail : m_eto@oitakensyakyo.jp

《登壇者のご紹介》

■大分デバイステクノロジー(株) 代表取締役 安部 征吾 氏

大分デバイステクノロジー(ODT)は、半導体業界を中心に常に一步先の品質力・技術力・コスト競争力の向上を目指し研鑽すると同時に、地元企業の先駆者としての責務を果たすべく、地域に根付いた企業活動を展開。

さらに、2016年4月より、これまで取り組んできたCSR活動を、ISO26000の枠組みにて見直しを図ると共に、より発展的に進化させることを視野に中期経営ビジョンに組み入れて推進している。

また、障がいのある方の実習受入れや雇用についても、積極的に取組を実施。

■社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県湊泉寮

地域係長 津島 伸一郎 氏【大分県生活困窮者就労支援協議会委員】

社会福祉法人大分県社会福祉事業団が経営する大分県湊泉寮(日出町)は、「救護施設」として生活保護受給者の受け入れを実施。2015年には宿泊型の施設「けいせんプラザ」を開所し、生活保護受給者に限らず、様々な困り事を抱える方々の支援を行うセーフティネット機能を強化してきた。

津島氏は、「けいせんプラザ」立ち上げ時より責任者として従事。

■就労訓練を受けられた方 五味 進一 氏

五味さんは、けいせんプラザで5ヶ月間就労訓練を受けた後、一般就労が決まった。

28歳から6年半、運送会社で働いたものの、労働時間が長く、持病もあったことから退社。

以降5年間、実家に引きこもるようになり、ゲームにはまる生活だったが、けいせんプラザの支援を経て、現在はゴルフ場で勤務されている。

■社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

地域福祉課長 吉田 瑞穂 氏【大分県生活困窮者就労支援協議会委員】

中津市社会福祉協議会では、複合的な課題を抱える方々に対する幅広く支援ネットワークを目的とした「福助ネットワーク」という協議体を設置。

『生活困窮者自立支援制度』に係る関係者等が、情報共有とスキルアップに努め、相談者に対する効果的な支援を行うため、毎月1回の会議で、関連事業・制度の学習会、困難ケースの事例検討等を実施。

また当該協議体を中心に、独自の就労に向けた段階的プログラムを開発。

該当する相談者への支援を実施。

■生活クラブ風の村 事業本部 事業部 企画課長 川上 葉子 氏

社会福祉法人「生活クラブ風の村」(千葉県)は、「赤ちゃんから看取りまで」、人生のすべてのステージで必要とされる支援、応援をすることをめざした事業を展開。

「生活クラブ安心支援システム」と名づけて、地域で孤立している人たちを社会の一員として迎え入れるための活動をおこなうとともに、さまざまな理由で、働きたいのに職を得られない人を職場に迎え入れる「ユニバーサル就労」にも取り組むなど、誰一人として孤立せず、排除されない「地域共生社会」づくりを推進。

当該法人は、生活困窮者自立支援制度の創設等に際し、その先進的な取組を基に、厚生労働省の設置する会議委員として貢献。